

試合番号 : 223	試合会場 : 旭川市リアルター夢りんご体育館 (旭川市総合体育館)	観客数 : 823
開始時間 : 14:40	終了時間 : 16:14	試合時間 : 01:34
ヴォレアス北海道 通算 2勝 23敗 7ポイント		日本製鉄堺ブレイザーズ 通算 15勝 10敗 44ポイント
監督コメント 良いアプローチで試合を戦えたと思います。たどたどしな試合があったとしても諦めませんでした。今日は日本製鉄堺ブレイザーズがあらゆる面で強かったです。より良い結果を出すためには、ミスが減らすこと、日鉄堺BZの効果的なブロックを減らすようサーブを改善し、我々のオフェンス時は相手のブロックを回避する方法を見つける必要があります。今日の試合を分析し、明日に向けて必要な調整を行うつもりです。ホームファンの皆様のご声援、誠にありがとうございました。	要約レポート ヴォレアス北海道がホームに日本製鉄堺ブレイザーズを迎えての一戦。日鉄堺BZはバックアタックによる得点で第1セット、日鉄堺BZはさらにバーノンの高さのあるスパイクと出来田の速攻が決まりスタートダッシュに成功する。対するヴォレアスは中盤以降の攻撃を中心に巻き返し、19-19の同点に追いつくが、最後は日鉄堺BZの竹元がブロックを決めセットを先取した。第2セット、序盤から両チーム一進一退の攻防が続いたが、日鉄堺BZはバーノンの強烈なスパイクや竹元のブロックで点差を広げる。ヴォレアスは山岸のサービスエースやルークのスパイクで応戦するが、最後まで流れを渡さなかった日鉄堺BZがセットを連取した。第3セット、流れを変えたいヴォレアスはこのセットから田城を投入。日鉄堺BZは中盤、迫田にボールを集め、点差を広げる。ヴォレアスは酒井、本澤、古賀を投入し逆転を試みるが流れを止めることができず、最後は安井が強烈なスパイクを決め、日鉄堺BZが勝利した。	

試合番号 : 224	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 2,031
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:42	試合時間 : 01:42
ウルフドッグス名古屋 通算 19勝 6敗 57ポイント		東レアローズ 通算 11勝 14敗 30ポイント
監督コメント ホームゲームをここの豊田合成記念体育館「エントリオ」で開催されることを本当に嬉しく思います。この素晴らしい環境の中で試合が出来ることを心から感謝しております。本日の試合は、大事な場面で選手たちがとても良いプレーをしていて、得点に繋げることが出来たと思います。しかしながら、我々の攻撃面で機能せず、苦しい場面もありましたし、解決するべき課題が明確になりました。Vリーグは後半戦になりますが、我々ウルフドッグス名古屋は自分たちのアイデンティティを探している段階です。日々ステップアップするために、この修正すべき部分をしっかりと立て直して、明日の試合に臨みたいと思います。世界中のウルフドッグス名古屋ファンの皆様、応援ありがとうございます。皆様のご健康を心よりお祈りしております。	要約レポート ウルフドッグス名古屋が東レアローズを制し、ホームゲームで勝利を飾った。第1セット、WD名古屋はクレク、山崎、東レはパダル、小澤にトスを集め激しい打ち合いとなる。中盤は両チームにブロックやサービスエースが飛び出し、両者譲らず終盤を迎える。どちらが取ってもおかしくないこのセットだったが、WD名古屋は王の粘りのレシーブから山崎がスパイクを決め勢いをつける。最後はクレクがサーブを決め、このセットを先取した。第2セット、序盤、東レは小澤のサービスエースで抜け出すが、WD名古屋は永露のブロックや山崎のスパイクで得点を重ね、逆転してテクニカルタイムアウトを迎える。WD名古屋は要所で高梨、クレクのブロックでリードを広げる。東レの酒井は小澤にボールを集め応戦するも、WD名古屋は高梨のスパイクが効果的に決まり、セットを連取した。第3セット、後がない東レはパダル、小澤にトスを集め得点を重ねる。一進一退の攻防が続く中、WD名古屋はリリーフサーバーの水町が2本のサービスエースを決めるなど、流れを引き寄せ5連続得点し、一気に東レを突き放す。さらに水町、小川の繋ぎからクレクがスパイクを決めると、最後は山崎がブロックを決め、この試合を制した。	

試合番号 : 225	試合会場 : Asueアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	観客数 : 1,637
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:03	試合時間 : 02:03
サントリーサンパーズ 通算 20勝 5敗 57ポイント		ジェイテクトSTINGS 通算 7勝 18敗 21ポイント
監督コメント 本日もサンパーズへのご声援有難うございました。先週の悔しい敗戦から一週間、我々ももう一度チャレンジャーとして臨んでいこうと選手たちに話をして準備してきました。一週間気持ちのこもった練習ができましたし、絶対に勝つんだという決意を持って試合に臨むことができたと思います。ジェイテクトは高いポテンシャルを持った選手が多いチームです。流れに乗せないことが勝利の条件だと考えていました。第2セット、我々のミスから相手に流れを渡してしまっことは修正点ではありますが、先週のことを考えれば、大きく成長できたと思います。今後も「PLAY HARD」を全員で徹底し、チャレンジャーの気持ちを忘れずに取り組んでいきます。今後もサンパーズへのご声援よろしく申し上げます。	要約レポート ファイナルステージ進出を決めたいサントリーサンパーズと前回の雪辱を果たしたいジェイテクトSTINGSの一戦。第1セット、サントリーは12-10から小野寺がブロックを決めると、アラインのサービスエースなどで一気に抜け出した。ジェイテクトも高橋(慶)のサイドからの攻撃やバックアタックで追いつけるが、そのままサントリーが逃げ切った。第2セット、ジェイテクトは、セッター関田の相手に的を絞らせない巧みなトス回りで点数を重ね、18-17でリードすると福山のミドルからの攻撃や秦の好レシーブでこのセットを奪い返す。リズムを取り戻したジェイテクトは第3セット、秦のサイドからの攻撃が芽え、前半から主導権を握る。一方、サントリーはムセルスキーにボールを集めて巻き返しを回り18-16とリードすると、後半にかけて3本のブロックが決まりそのまま逃げ切った。勢いに乗ったサントリーは、第4セット序盤からアライン、ムセルスキーの攻撃が炸裂しリードすると、ジェイテクトの高橋(慶)や藤中の粘り強い攻撃を凌ぎ、このセットを奪い勝利した。この勝利でサントリーはファイナルステージ進出を決めた。	

試合番号 : 226	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 2,645
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:32	試合時間 : 01:32
パナソニックパンサーズ 通算 24勝 1敗 71ポイント		VC長野トライデンツ 通算 1勝 6敗 6ポイント
監督コメント 簡単な試合ではなかったです。サーブが非常に良くてブロックにも苦しむ場面もあったが、山本含めて良いディグのおかげで勝つことができたと思います。明日も頑張りますので応援よろしくお願いいたします。	要約レポート 首位に立つパナソニックパンサーズがVC長野トライデンツをホームに迎えての一戦。第1セット、パナソニック西田のアタックを皮切りに大塚やジュスキのアタックも決まり前半をリードする。中盤以降はセッター深津が相手に的を絞らせない多彩な攻撃で試合を優位に進め、最後はジュスキのサーブが決まりセットを取る。第2セット、VC長野は強いサーブでパナソニックの攻撃リズムを崩すと、トレントや山田、修の攻撃が要所で決まり、リードする展開となる。パナソニックは大塚、西田の活躍でセット終盤に追いつく。デューズまでもつれたが、最後はパナソニック大塚のアタックが決まりセットを連取する。第3セット、パナソニックはジュスキやエバデットの連続サーブ得点などで前半にリードを奪うと、その後も西田や大塚の活躍で順調に得点を重ねる。VC長野も中盤にセッターを中島に代え、トレントや修の攻撃で巻き返しを図るも、勢いを止めることは出来ず、パナソニックが勝利した。	